

金町駅周辺地区の街づくりについて

金町街づくり担当課

1 金町駅北口周辺地区の街づくりについて

(1) 東金町一丁目西地区

①基本設計

東金町一丁目西地区では、理科大学通り等の交通基盤の拡充や市街地再開発事業による土地利用転換、並びに同事業と連携した地元商店会の活性化などを通じて、賑わいと活力のある広域複合拠点の形成を進めている。

現在、東金町一丁目西地区市街地再開発準備組合が地区内の建物調査や施設建築物の基本設計を行っており、区は権利変換等により再開発施設内に公共施設を整備するべく、組合に対し必要面積等について要望したところである。基本設計は本年3月末の完了を予定しており、現時点での基本設計案として別紙のとおり提示を受けている。(参考資料1参照)

②公共施設諸室の構成

諸室等	面積	機能等
バンケットホール	約500㎡	・多目的に利用可能なホール ・300㎡程度と200㎡程度に仕切れる仕様
区民事務所	約260㎡	・土日祝日開庁、窓口時間の夜間延長、待ち時間ストレスフリーに向けた取組 ・外国人対応の充実
地区センターをはじめとした多目的な地域活動拠点		
第1会議室	約75㎡	・従来の地区センター機能に加え、子育て・高齢者対策・産業など様々な地域活動が行えるように、多様な会議室や活動室などを整備する。
第2会議室	約90㎡	
第3会議室	約85㎡	
多目的室	約180㎡	
音楽室	約60㎡	
和室	約60㎡	

※面積には、共用施設（廊下、トイレ等）、ホワイエ、倉庫等は含まず。

③今後のスケジュール（予定）

今後、再開発準備組合においては権利者の合意形成を進め、本組合設立に向けた準備を進めていく予定である。

区としては準備組合に対し、組合設立認可申請前の時点で、事業計画案を地域の方々へ説明する機会を設けるよう指導していく。

- ・令和2(2020)年度 「東金町一丁目西地区市街地再開発組合」設立認可
- ・令和3(2021)年度 権利変換計画認可
- ・令和11(2029)年度 竣工

(2) 駐輪場の整備計画の見直し

金町駅利用者は年々増加傾向にあり、特に、通勤・通学時間帯は駅前で歩行者と自転車が錯綜し、危険な状況が見られる。このような危険な状況をなくし、歩行者、自転車が安全に通行できる環境づくりの面からも、自転車駐車場利用者の居住地から最寄り駅に向かって行く方面ごとに分散して自転車駐車場を整備するなど、自転車の動線が集中しないように施設を分散することで、駅近くの歩行者の安全を確保する必要がある。

このような観点から、民営自転車駐車場の利用状況も加味しつつ、改めて、区営自転車駐車場の需要を精査し、併せて当該駐車場の整備費用および維持管理費用等を総合的に検討し、以下のとおり駐輪場の整備計画を見直した。

これまでの計画	見直し後の計画
・再開発施設建築物 地下1階 自走ラック式 <u>2,000</u> 台	・再開発施設建築物 地下1階 自走ラック式 <u>1,000</u> 台
・再開発事業区域 広場地下 機械式 <u>1,000</u> 台	・再開発事業区域 北西側周辺 自走ラック式 <u>1,500</u> 台
計 <u>3,000</u> 台	計 <u>2,500</u> 台

2 エリアマネジメントの推進

金町駅周辺地区の連携した街づくりを進めるため、令和2年度は、まちの魅力や賑わいの継承・創出を目的とした金町駅周辺地区におけるエリアマネジメントの検討や、参考となる他地区事例の調査・検証等を行う。